



堂崎っ子の心を見つめる教育週間 【6月22日（月）】 校長講話より

今週は「堂崎っ子の心を見つめる教育週間」です。この一週間は、いつもより少しだけゆっくと立ち止まって、自分の気持ちや、友達の気持ち、そして命の大切さについて考える時間です。

□ 命は一つしかない

自分が生まれてきたことが、どれだけすごいことか知っていますか。たくさんのご先祖さまがいて、たくさんの「めぐりあわせ」があって、みなさんは今ここにいます。だから、みなさんの命は、世界にたった一つの、とても大切な宝物です。みなさんの友達も、家族も、先生も、みんな同じように大切な命をもっています。

□ 人はつながって生きている

みなさんは、毎日いろいろな人に助けられて生きています。朝ごはんを作ってくれる家の人、安全に登校できるよう見守ってくれる地域の人、勉強を教えてくれる先生、一緒に遊んでくれる友達。人は一人では生きていけません。だからこそ、「ありがとう」や「大丈夫?」と声をかけることが、とても大切です。

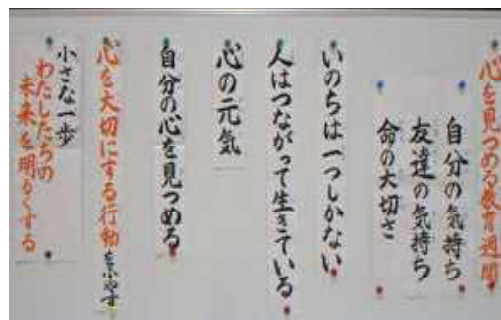
□ 心の元気

元気には、体そのものが元気、心が元気の二つがあります。一番良いのは、心も体も、そして、人とのつながりも、全部が元気な状態であるときです。みなさんが幸せだなと思うときはどんなときでしょう。友達と笑ったとき、だれかにほめられたとき、できなかったことができるようになったとき。小さな「うれしい」と思うことが、みなさんの心を元気にしてくれます。

□ 自分の心を見つめる

心は、目には見えません。だからこそ、気づこうとすることが大切です。今、ちょっと悲しい気持ちになっていませんか。友達の言葉で傷ついていませんか。もしかして、逆に、自分が誰かを傷つけてしまっていることはありませんか。これらのように、自分の心を見つめることができる人は、やさしい気持ちを持ち続けることができます。最後に、みなさんにお願いがあります。今日から、心を大切に作る行動を一つだけ増やしてみてください。友達に「ありがとう」と言う。困っている人に声をかける。相手をしっかり見て、あいさつをする。お辞儀する。自分の気持ちを家の人に話す。友達のよいところを見つける。小さな一歩ですが、その一歩が、みなさんの未来を、そして長崎の未来を、もっと明るくしてくれます。

みなさんの心が、これからもすくすく育っていくことを願っています。



歯と口の健康週間の取組より 【6月10日（水）】 歯の保健集会

〇〇養護教諭の指導のもと、保健委員会による歯に関する絵本の読み聞かせ、クイズを行いました。

クイズの内容は、①平安時代の人の歯の色について(→黒) ②虫歯の予防法(→よく噛んで唾液を出す、あごを丈夫にする、脳に刺激を与える。) ③歯ブラシの交換時期(→1ヶ月) ④歯がボロボロになるのはどんな時?(→食べ物のかすが残っている場合)

また、「謎解きイーハロックホームズくん」、「歯を大切に」などDVDの紹介も各学級にされました。

□ 6月2日(火)・5日(金)は歯科校医の〇〇先生による歯科検診が行われました。御家庭における歯みがき、幼少期から行われているフッ化物洗口等により、昔ほど虫歯がひどいという子供が多いわけではないとおっしゃっていました。しかしながら、歯磨きが十分でなく、食べ物のかすや歯垢が残っている子供がいるという話をされました。

これから もお互いに歯と口の健康に努めていきましょう。



1年生生活科 インタビュー「〇〇先生は、どんな仕事をしているのですか？」

6月2日(火)1年生が、校長、〇〇養護教諭、用務員の〇〇さんへインタビューを行いました。内容は、①どんな仕事をしているか ②校長室には何があるか ③楽しい仕事は何か ④学校の好きなところは何かという4項目でした。1年生に分かりやすく説明するのも、なかなか難しいなど実感した次第です。

担任の〇〇先生、支援助手の〇〇先生の指導により、教室への出入りや挨拶の仕方、インタビューの仕方(尋ね方)が礼儀正しくできましたので、うれしく思いました。



体力テスト 【6月3日(水)】

子供たちが健康で明るく元気に生きていくためには、走ったり跳んだり、物をもったりする力が必要です。外遊びや運動・スポーツ、歩いて登下校をすることで、自然と身に付いてきます。

体力テストの目的は、児童自身の体力や運動能力を正確に把握し、運動習慣や生活習慣の改善、及び生涯にわたる健康と体力向上への意欲を育てることです。

健康・体力の状況を把握し、問題点を明らかにする。そして自分の体力と運動能力を理解させ、健康な体づくりをイメージすることが大切です。しかしながら、小学校低学年においては、自分の将来の体力について予測することは難しい部分があります。そこで、私たち大人が、前向きに背中を押し、適切なアドバイスを施してあげることが、将来子供たちが健康に過ごすきっかけを与えることにつながるのではないのでしょうか。



5年生 雲仙岳災害ジオパーク学習 【6月12日(金)】

ふるさと島原半島で起きた災害について知り、復興までの様子や人々の暮らしについて学ぶことを目的としてジオパーク学習に臨みました。

雲仙岳災害記念館見学では、

□島原大変劇場(1792年の噴火で起きた地震で、眉山が大崩壊し、9mの津波を引き起こした災害)について

□平成の大噴火シアター(「島原半島の起こりと成り立ち」)について

□1991年6月3日の大火砕流について。なぜ43名の犠牲者が出たのか。

□復興へ向けて歩んできた島原の紹介。

□火砕流実験 □体験等のコーナー(クイズにチャレンジ)等を行いました。

また、午後から、旧大野木場小学校、砂防みらい館見学を行いました。砂防みらい館では、土石流・火砕流・溶岩ドームの監視、緊急時における無人施工操作について、災害や復興についての資料展示がなされていました。



サツマイモの苗植え 【6月16日(火)】

苗の生育状態や天候の状況を見て苗さしを行いました。作物を育てるにはタイミングがあるという話をしたところ、その日の午後は思った以上に気温が上ががり、苗が焼けないか心配しました。その後、恵みの雨が降り、少し安心しました。

